

8月「19の日」行動

菅首相は、市民の命・暮らしを守れ！
オリンピックは中止、改憲策動をやめよ！

コロナ感染は、これまでの中で最大の感染爆発と言える状況が起こりつつあります。

五輪開催固執、ワクチンだけの菅首相、そのワクチンすら準備できない事態など、市民や自治体まで踏みつけにするものです。いくら「国内移動をするな」と言っても、オリンピックで世界中から人々が集まることを続けていては、聞く耳を持たれません。



さらに、あろうことか「重傷者以外は入院させない」と突然発表しましたが、軽症と思われた人が突然死したら政府・菅首相が責任を取る、ということでしょうか。もう、ホテル療養や臨時の療養体制拡充もしないという事でしょうか。開業医も病院の医師も医療関係者も、外来や往診で目いっぱい働いているのです。やるべきは、医療やそれを支援する体制の強化と援助に全力を尽くす事です。

アベ首相から菅首相へと続く利権と政治の専横・私物化により、政治への信頼も失っています。国民の苦難を横目に、どさくさに紛れて悪政を進め、引き続き憲法の改悪をねらっています。「憲法を変えるのではなく、政治をかえよう」「コロナ対策に全力を尽くす政府を！」の声をあげましょう。国民の手に政治を取り戻すため、草の根から「野党は共闘」の声を上げましょう。

デモは中止します！ 感染に注意して参加しましょう！

とき **8月19日（木）**

午後 **6時30分～** **スタンディングのみ**

ところ **京都市役所前（御池通側歩道）**

呼びかけ **戦争をさせない京都1000人委員会**